

E P O 中部運営業務

令和 6(2024)年度 業務実施計画



中部環境パートナーシップオフィス運営業務 令和6年度(2024年度)業務一覧

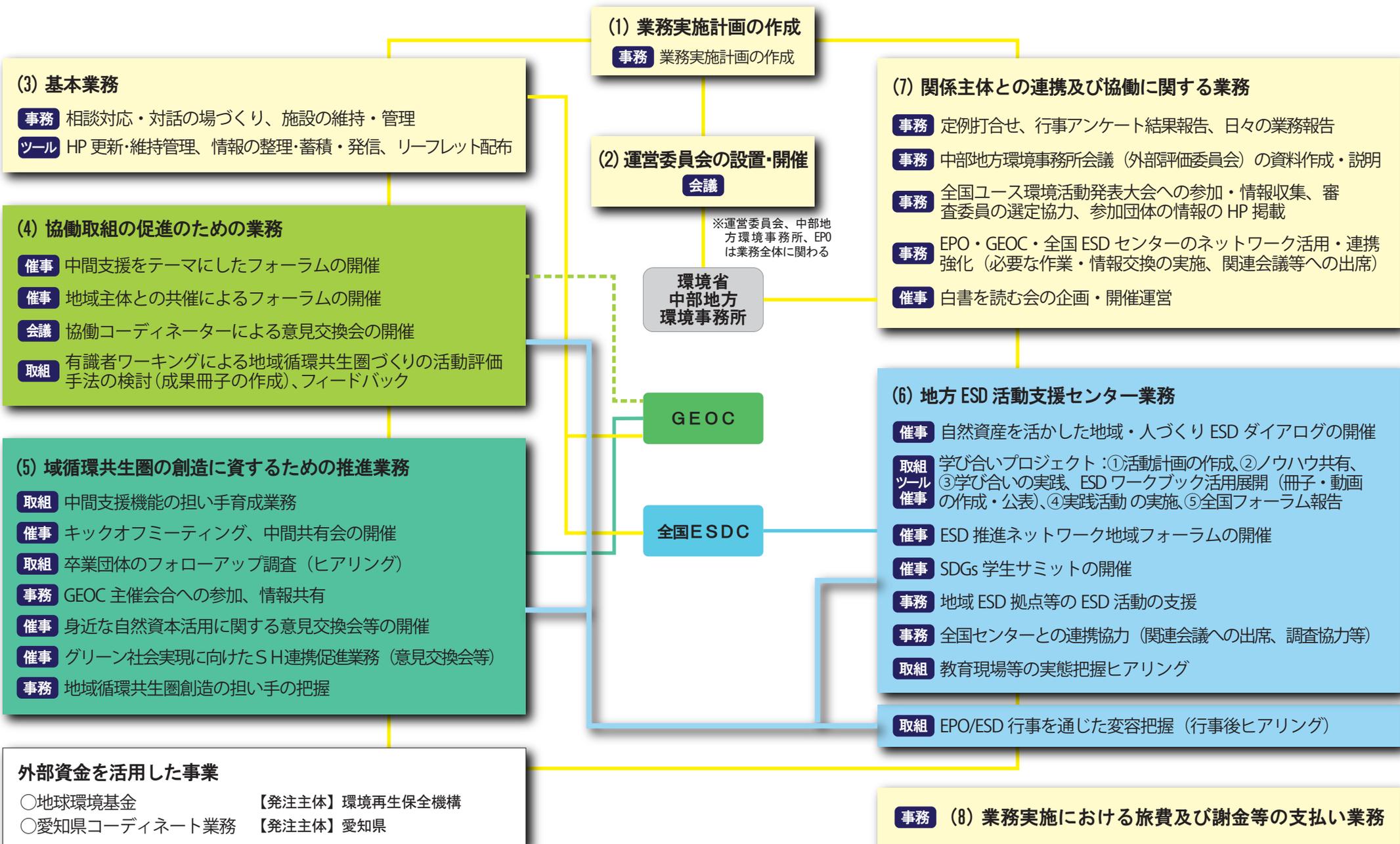
業務費 39,160 千円

第7期3カ年度の目標

2030年を見据え中部地方のローカルSDGs達成に向け地域循環共生圏に資する地域環境活動の面的拡大を加速化させます。

今年度目標

既存のネットワークを活かし地域のニーズに対応した事例モデルを作成するとともに取組の組織や事例などの優良資産を発掘、把握、整理します。



2024年度業務スケジュール案

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1 業務実施計画の作成	第7期業務実施計画案、達成目標の作成	原、富田	作成		運営委員会への提示	修正	公開										
2 運営会議	EPO/ESD運営委員会の設置・開催【2回】	清本、原、富田、小松	委員選定	資料作成、開催準備・調整	運営委員会1開催	開催結果とりまとめ	公開				資料作成、開催準備・調整	運営委員会2開催	開催結果とりまとめ→公開				
3 基本業務	3-1 ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	富田、小松	月2回以上の更新を適宜実施														
	3-2 収集・整理・蓄積した情報の発信(月1回)	小松	月1回以上のメルマガ配信を適宜実施														
	3-3 リーフレットの配布	富田	イベント等で配布														
	3-4 照会・相談対応、対話の場づくり	清本、原、富田、小松	適宜実施し、記録及び報告														
	3-5 施設の維持管理	富田、小松	日常的に適宜実施														
4 協働取組の促進のための業務	4-1 中間支援をテーマにしたセミナー【1回(3時間)】	清本、富田	各連携主体にヒアリング ↓ 企画案等を作成		関係地域・団体との調整、企画・準備・広報		セミナー開催										
	4-2 地域主体との共催によるフォーラム【2回(半日)】	清本、富田			連携する協働コーディネーターとの調整、企画・準備・広報		フォーラム1開催		関係地域・団体との調整・準備		フォーラム2開催						
	4-3 協働コーディネーターによる意見交換会【1回(半日)】	清本、富田			運営委員会に諮る		関係者調整		意見交換会開催		フィードバック		運営委員会に報告				
	4-4-1 有識者ワーキングGによる活動評価手法の検討【3回(半日)】	清本、原	関係者調整、企画立案		WKG1実施		評価手法検討		WKG2実施		フィードバック		WKG3実施				
	4-4-2 検討結果のフィードバック、成果まとめ冊子の作成	原			冊子構成の検討		フィードバック		フィードバック資料作成		まとめ冊子原稿の作成		WEBへの公開				
	5-1 中間支援機能の担い手育成業務(対象:環境省事業採択団体)	富田	打合せ・ヒアリング実施		フォローアップシート提出		各団体を適宜支援、SHミーティング参加等 → フォローアップシート作成・提出(四半期ごとに)						次年度展開の打合せ				
5-2 キックオフミーティング【1回】、中間報告会【1回(2日)】	清本、富田	日程調整調整		中部キックオフM		実施場所等を関係者と調整 → 企画		準備		中部中間報告会							
5-3 GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業検討会議、成果共有会	富田	適宜参加															
5-4 卒業団体のフォローアップ調査;ヒアリング【1件】	富田			依頼		ヒアリング実施		結果とりまとめ									
5-5 身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回(半日)】	清本、富田	関係主体との調整		運営委員会に諮る		関係者との協議・調整		企画案作成		準備		意見交換会等1		準備		意見交換会等2	
5-6 グリーン社会実現に向けたSH連携促進業務【4回(半日)】	清本、富田			各会合の関係者との協議・調整		企画・準備		意見交換会等1		意見交換会等2		意見交換会等3		意見交換会等4			

全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出

2024年度業務スケジュール案

仕様書業務項目	業務内容	担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
6 中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1-1	学び合いP:①活動計画の作成、②ノウハウ共有(作業部会出席【2回】)	原	活動計画の企画案作成		ノウハウ共有:適宜実施					作業部会出席			
	6-1-2	学び合いP:③-1学び合いの場【2回】、④実践活動、⑤全国フォーラムで報告【1回】	清本、原	関係者との調整		準備・広報	③学び合い1・2	④実践活動		⑤全国フォーラムで報告				
	6-1-3	学び合いP:③-2有識者検討会【3回】、ワークブック活用普及冊子・動画の作成・公表・配布	清本、原、小松	関係者との調整		有識者検討会1	冊子・動画のコンテンツ検討	有識者検討会2	冊子・動画のコンテンツ制作	有識者検討会3	冊子・動画の公表・配布			
	6-2	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2日)】	清本、原、小松	企画案作成		関係者との調整・準備・広報			ESDダイアログ開催					
	6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	清本、原、小松	企画案作成		関係者との調整・準備・広報		フォーラム開催				運営委員会に報告		
	6-4	地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	適宜対応		運営委員会に諮る								
	6-5	SDGs学生サミット【1回(半日)】	清本、原、小松	企画案作成		関係機関との調整		登壇学生チームの募集	準備・広報	学生サミット開催				
	6-6	全国センター会議への出席・連携協力:連絡会【2回】、協力団体意見交換会【2回】、企画運営委員会【2回】、活動状況調査等への協力	清本、原	適宜出席・協力										
	6-7	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1回(2時間)】/教育関係者【2回(各2時間)】/中小企業経営者【2回(各2時間)】	清本、原			業務関係者の専門家・教育関係者・中小企業等へのヒアリング実施				とりまとめ				
6-8	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田							業務の連携・協力者6団体へのヒアリング、結果とりまとめ					
7 関係主体との連携及び協働に関する業務	7-1	事務所担当官との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松	適宜実施(月1回以上の打合せ、月次報告)										
	7-2	事務所開催会議の資料作成・説明:外部評価委員会含む【1回(半日)】	清本、原、富田					資料作成等の対応				外部評価委員会		
	7-3	白書を読む会の企画、会場運営支援【1回(3時間)】	富田	関係者との調整、協力事項確認	会場運営準備等		白書を読む会開催							
	7-4	全国ユース中部大会に参加【1回(半日)】、審査委員の選定、活動団体情報のWEB掲載	清本、小松					審査委員の推薦		中部大会に参加		参加団体のWEB掲載		
	7-5-1	GEOC主催会議に出席:検討会議【1回】、全国EPO連絡会【3回、うち1回中部開催】、NW強化ミーティング【1回】	清本、富田	適宜出席										
	7-5-2	全国EPO連絡会の中部開催【1回(2日)】	清本、富田	関係者との調整、必要事項確認	開催日・会場、視察地の検討・確定	事務手配(会場、バス等確保)、関係者への案内、参加者確認等	視察先との調整	全国EPO連絡会の中部開催・視察の実施						
8	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松、小栗	適宜実施											
	外部資金を活用した事業:地球環境基金/愛知県環境学習コーディネイト業務	清本、小栗、小松、服部	環境再生保全機構、愛知県環境学習プラザと連携して適宜実施											
	成果物の提出:第1~3四半期報告書、年間報告書(及び概要版)	原、富田、小松			第1四半期報告書提出				第2四半期報告書提出		第3四半期報告書提出		年間報告書提出	

全業務の実施結果のとりまとめ/年間報告書の提出

EPO中部令和6年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容(イベント:オンライン活用・併用)	担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		アウトカム		備考		
				催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)		アウトカム(予想される成果)	
1	業務実施計画の作成	第7期業務実施計画案、達成目標の作成	原、富田	・外部有識者:必要に応じて助言	・第7期計画書の作成 ・令和6年度の業務実施計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・第7期計画書 ・令和6年度業務実施計画書 ・令和6年度アウトプット・アウトカム目標一覧表		・担当者、運営委員会等関係者による第7期および当年度EPO中部ESDC計画としての内容の十分な認知 ・各指標による評価の実施と説明による、担当者、運営委員等の理解	・第7期計画の言語化、見える化 ・令和6年度業務遂行計画として事業推進の内容の見える化 ・それぞれの業務についてのアウトプット、アウトカム評価可能性確保			
2	運営会議	EPO/ESD運営委員会の設置・開催【2回】	清本、原、富田、小松	・外部有識者:運営委員として議論参加、助言	・ESD/EPO中部運営会議(2回)	・9名程度の運営委員(6~3級相当)で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録	・各回7名以上の参加	・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただき業務への積極的な参画を得ることによる効果的な活動を展開への寄与		
3	基本業務	3-1	ホームページ(EPO/ESD)の更新・維持管理	富田、小松	・専門業者:相談(管理問い合わせ等)	・HPの更新	・HPのページ更新(月2回以上)	・ページビュー数(昨年度同水準以上)	・更新されたHPに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・HPによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上		
		3-2	収集・整理・蓄積した情報の発信(月1回)	小松		・メールマガジンの作成・発行 ・SNSによる情報発信	・メールマガジン(月1回以上) ・SNS記事	・情報発信回数(昨年度同水準以上)	・情報発信頻度の維持、拡大 ・コンテンツに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・EPO、ESDCの認知の維持、拡大 ・好感度の向上、掲載情報利用の拡大		
		3-3	リーフレットの配布	富田	・印刷:外注(必用に応じ)	・リーフレットの配布(印刷は必要に応じ)	・リーフレット(必用に応じて情報更新A4フルカラー必要部数)	・配布数(昨年度同水準以上)	・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・リーフレットによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上		
		3-4	照会・相談対応、対話の場づくり	清本、原、富田、小松	・外部の様々な活動団体:活動等参加先	・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言 ・ニーズに応じた講師等派遣 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等への参加 ・施設の維持管理	・相談対応票 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録 ・講師派遣の記録 ・(他団体主体の)審議会、委員会、検討会、会議等の一覧	・紹介・相談件数 ・資料収集数、参加件数 ・講師等派遣回数、対象人数 ・審議会、委員会、検討会、会議等の関係人数	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数の増加 ・講師派遣件数、対象人数の増加 ・参加する審議会、委員会、検討会、会議等の件数の増改、関係人数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進 ・各種の審議会、委員会、検討会、会議等の情報収集、関係主体へのEPO中部ESDCの認知と好感度の向		
		3-5	施設の維持管理	富田、小松		・日常管理	・業務日報等の文書	・良好な施設空間環境の維持				
4	協働取組の促進のための業務	4-1	中間支援をテーマにしたセミナー【1回(3時間)】	清本、富田	・協働コーディネーターなど中間支援組織関係者、地域関係者との連携や中間支援機能強化	・勉強会(1回、3時間、30名程度)	・開催記録	・参加者30名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加、きっかけとしての行動		
		4-2	地域主体との共催によるフォーラム【2回(半日)】	清本、富田	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・実践的取組(2回程度、半日程度、30名程度)	・開催記録	・参加者各30名程度 ・中間支援団体等との連携協働実績	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加		
		4-3	協働コーディネーターによる意見交換会【1回(半日)】	清本、富田	・協働コーディネーターの参加	・情報・意見交換会(1回、2時間程度、10名程度、状況に応じてオンライン開催)	・開催記録	・参加者各10名程度	・参加者の感想、意見(課題とニーズ)	・意見交換による情報共有と動機づけによる活動意欲の向上		
		4-4-1	有識者ワーキングGによる活動評価手法の検討【3回(半日)】	清本、原	・関係する有識者等による検討	・有識者によるワーキング3回	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集と活用	・開催記録	・各会有識者3名の参加	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果に関する専門家意	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用の知見	
		4-4-2	検討結果のフィードバック、成果まとめ冊子の作成	原	・関係する専門家等、事例対象の取組団体等		・対象2事例の状況ヒヤリング等	・地域SDGs評価フィードバック試行(2事例)、成果取りまとめレポート	・対象2事例対象者への活動評価			
5	地域循環共生圏の創造推進業務	5-1	中間支援機能の担い手育成業務(対象:環境省事業採択団体)	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、GEOC	・必要に応じた中間支援団体が活動団体に対して行う支援の場への出席、活動団体が開催するステークホルダーミーティングへの参加など。	○年度当初 ・中間支援主体に対する年間の支援目標、支援計画等について打ち合わせ、及び必要に応じた中間支援主体の支援目標や年間支援計画の修正の支援。 ・中間支援主体を効果的に支援するための、必要に応じた活動団体に対するヒヤリング等 ○年度中 ・活動団体に対する月1回以上の連絡調整 ・中部地方環境事務所より依頼される団体採択に関わる意見照会、とりまとめへの対応。	・地域循環共生圏取組みの中間支援についての知見	・中間支援団体に対する支援(3団体) ・活動団体との連絡調整(月1回以上)	・各団体の構成員、担当者、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積	
		5-2	キックオフミーティング【1回】、中間報告会【1回(2日)】	清本、富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、全国支援事務局、GEOC	・キックオフミーティング(1回程度、1日) ・中間共有会(1回程度、2日程度)	・キックオフミーティング開催記録 ・中間共有会開催記録	・各団体同士、関係者での情報共有	・関係3中間支援団体、活動団体、関係者の参加	・各団体の構成員、担当者、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積	
		5-3	GEOC主催会合への参加:キックオフM、作業部会【2回】、共有会、事業検討会議、成果共有会	富田	・中間支援団体、活動団体、関係者、GEOC	・キックオフミーティング(オンラインを想定、1回、2日程度、5月開催を見込む)、作業部会(都内予定、2回程度、1回当たり3時間程度、都内)、地方EPO等共有会(オンラインを想定、1回、3時間程度)、地域循環共生圏づくり支援体制構築事業検討会議(オンラインを想定、1回、3時間程度)、成果共有会(都内を予定、1回、2日程度、3月開催を見	・キックオフミーティング及び成果共有会にむけての活動(採択)団体の資料作成等支援、当日の意見交換補佐	・参加による情報共有 ・資料作成等支援と意見交換補佐	・各会合への職員の参加	・各団体の構成員、担当者、専門家等の関係者のご意見や感想 ・EPO担当職員、関係者の意見、感想を含む対象中間支援団体、活動団体の取組評価	・中間支援団体の活動団体への支援能力の向上と活動ネットワークの拡充 ・地域循環共生圏の取組に対する中間支援方法とその効果についての知見の蓄積	
		5-4	卒業団体のフォローアップ調査:ヒヤリング【1件】	富田	・中部EPO管内卒業団体、GEOC		その後の取組の進捗の把握について、卒業団体のオンラインヒヤリング(1件程度)	・GEOCへのヒヤリング報告書		・GEOC等関係者のご意見	・PF事業の効果の共有	
		5-5	身近な自然資本の活用に関する意見交換会【2回(半日)】	清本、富田	・地域の自治体、企業、金融機関	・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する基調講演、話題提供を実施するとともに、参加者による意見交換会・ワークショップ等の実施(2回を想定、各半日程度、各30名程度)。		・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換会開催記録	・有識者3名程度(2回) ・参加者30名程度(2回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・身近な自然資本を活用した地域づくりに関する意見交換結果の共有、ネットワークの形成	
		5-6	グリーン社会実現に向けたSH連携促進業務【4回(半日)】	清本、富田	・各省地方支部部局、経済団体、自治体、金融機関等	・基調講演、話題提供、情報交換会やワークショップ等の開催のための支援及び開催運営(4回程度、各半日程度、各30名程度)		・情報交換会やワークショップ等開催記録(4回)	・有識者3名程度(4回) ・参加者30名程度(4回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒヤリング)	・地域循環共生圏の創造促進のための情報の共有、ネットワークの形成	

EPO中部令和6年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目	業務内容(イベント:オンライン活用・併用)	担当	外部関係者とその役割	インプット(仕様書、計画書)		アウトプット(指標)		アウトカム		備考	
				催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)		アウトカム(予想される成果)
6 中部地方ESD活動支援センター運営業務	6-1-1	学び合いP:①活動計画の作成、②ノウハウ共有(作業部会出席【2回】)	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点	・全国センターが開催作業部会出席【2回】	・活動計画の作成				・ESDネットワークにおける中部ESDC活動の情報共有と理解の促進	
	6-1-2	学び合いP:③-1学び合いの場【2回】、④実践活動、⑤全国フォーラムで報告【1回】	清本、原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点、地域地球温暖化防止活動推進センター等、有識者	・学び合いの場【2回】 ・実践活動【1回】 ・全国フォーラム結果報告【1回】		・学び合いの場【2回】開催記録 ・実践活動【1回】開催記録 ・全国フォーラム参加記録		・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート) ・SDGs社会教育WG【3回(各2.5時間)】有識者と実務者計4人 ・実践活動【1回(2時間)】20名	・ワークショップの活用による「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」への貢献	
	6-1-3	学び合いP:③-2有識者検討会【3回】、ワークブック活用普及冊子・動画の作成・公表・配布	清本、原、小松	・有識者による検討	・有識者による検討会【3回】	・ワークブック活用のための調査、情報収集 ・ワークブック活用方法の検討	・有識者による検討会開催記録 ・ワークブック活用方法の取りまとめプロトタイプと動画プロトタイプ	・関連する事例、知見	・各会有識者3名の参加	・検討内容についての運営委員など関係者のご意見	・ワークブックの活用による社会ESDの促進
	6-2	自然資源を活用した地域・人づくりESDダイアログ【1回(2日)】	清本、原、小松	・ジオパーク等、環境省地域資源(自然公園等)、関係する教育機関 ・登壇者による講演、話題提供、講評、ディスカッション	・「自然資源を活かした地域・人づくりESDダイアログ」の開催【1回、2日、30人程度】		・ダイアログ開催記録		・参加者30名程度 ・有識者5名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加
	6-3	ESD推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)】、ポスター作成	清本、原、小松	・地域ESD拠点、ESD関係者	・ESD推進ネットワーク地域フォーラム開催【1回、半日程度、30名程度】		・地域フォーラム開催記録		・ESD拠点、関係者等(30人程度)	・ESD拠点関係者の意見や感想(アンケート等)	・地域におけるESD活動の課題やニーズ、普及・啓発の効果的な手法等について参加者同士の共有
	6-4	地域ESD拠点等の活動支援	原、小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援			・ESD拠点登録数 ・3基本業務に含む	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充
	6-5	SDGs学生サミット【1回(半日)】	清本、原、小松	・中部地方の大学研究室、高校、地方自治体、NPO等 ・有識者によるファンリテーター、講評	・ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム中部学生サミット【1回(半日)】／オンライン	・活動分析へのSDGsチェックリストの概念活用	・開催記録		・サミット参加、オンライン視聴100名程度	・参加者の意識等(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加
	6-6	全国センター会議への出席・連携協力:連絡会【2回】、協力団体意見交換会【2回】、企画運営委員会【2回】、活動状況調査等への協力	清本、原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター	・ESD活動支援センター(全国・地方)連絡会(都内予定、2回、各1日、各2名程度)参加。 ・全国協力団体意見交換会(2回、半日程度、各2名程度)及び企画運営委員会(2回、2時間程度、2名程度)オンライン等参加。	・ESDの考え方をベースに、「地域循環共生圏」の人づくりのための域資源を発掘し活用 ・活動状況調査等に対する情報・資料の提供等の協力・対応		・関係する情報、資料 ・議論の結果としての知見		・中部ESDC担当者の知見	・ESD全国センター等ネットワークとの連携
6-7	教育現場の実態把握と連携強化:専門家【1回(2時間)】／教育関係者【2回(各2時間)】／中小企業経営者【2回(各2時間)】	清本、原	・SDGs、ESDに詳しい専門家 ・SDGs意思のある教育局、教育委員会、現場の教員		・専門家への包括的ヒヤリング(オンライン、2時間程度、1回、大学教授級1名想定オンライン) ・教育関係者へのヒヤリング(オンライン、2時間程度、2回程度) ・経営者等へのヒヤリング(オンライン、2時間程度、2回程度)	・ヒヤリング結果			・ヒヤリング対象の感想 ・運営委員等の外部評価	・有意義な知見の入手 ・ESD、SDGs専門領域との連携強化	
6-8	行動変容の把握:行事参加者へのヒヤリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田	・4から6の関係者		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒヤリング(電話、メール等)	・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒヤリング結果		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒヤリング結果	・ヒヤリング結果の分析と解釈	・地域循環共生圏構築行動など持続可能社会に貢献する行動変容	
7 関係主体との連携及び協働に関する業務	7-1	事務所担当官との定期的な打合せ、日々の業務を毎月報告	清本、原、富田、小松		・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告書の作成	・月次報告書		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
	7-2	事務所開催会議の資料作成・説明:外部評価委員会含む【1回(半日)】	清本、原、富田	・外部評価委員	・外部評価委員会等での資料に関する説明(名古屋市内、1回程度、半日程度、3名程度)	・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応 ・令和7年度の達成状況の自己評価	・外部評価委員会対応資料 ・令和7年度の達成状況の自己評価書		・関係者の意見、評価	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営 ・EPO中部ESDCに対する適正な評価	
	7-3	白書を読む会の企画、会場運営支援【1回(3時間)】	富田			・白書を読む会の企画運営支援	・企画運営サポート記録		・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
	7-4	全国ユース中部大会に参加【1回(半日)】、審査委員の選定、活動団体情報のWEB掲載	清本、小松		・活動団体情報のWEB掲載	・全国ユース大会への参画、審査委員選定	・全国ユース大会参画、審査委員選定結果 ・活動団体情報のWEB掲載		・選定審査委員	・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営
	7-5-1	GEOC主催会議に出席:検討会議【1回】、全国EPO連絡会【3回、うち1回中部開催】、NW強化ミーティング【1回】	清本、富田		・GEOC主催会議:検討会議【1回】、全国EPO連絡会【2回】、NW強化ミーティング【1回】に参加			・EPOネットワーク、全国情勢の情報	・各会合への職員への参加	・EPO中部に反映させるべき知見	・GEOC、EPOネットワークや施策動向の把握
	7-5-2	全国EPO連絡会の中部開催【1回(2日)】	清本、富田	・GEOC:全国EPO連絡会議開催	・全国EPO連絡会の中部開催【1回(2日)】会場の確保、視察場所との調整、当日の運営等、GEOCに対し必要な協力の実施			・EPOネットワーク、全国情勢の情報	・各会合への職員への協力、参加	・EPO中部に反映させるべき知見	・GEOC、EPOネットワークや施策動向の把握
8	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務	小松、小栗		・適正な支払い		・支払い記録			・会計部署の承認	・適正支出の明確化	
	外部資金を活用した事業:地球環境基金/愛知県環境学習コーディネート業務	清本、小栗、小松、富田				・成果報告書			・ネットワーク形成	・EPO中部活動への貢献	
	成果物の提出:第1~3四半期報告書、年間報告書(及び概要版)	原、富田、小松		・報告書の作成		① 四半期報告書 1部(A4版40頁程度 ホッチキス止め可 電子媒体(DVD-R)1式) 第1四半期報告書 令和5年7月14日					